

2007年度 工学研究科デザイン科学専攻(デザイン科学) 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
T25300101	デザイン・イノベーション	2.0	前期木曜 5 限	各教員	後デ 2
T25300201	環境人間工学	2.0	前期水曜 5 限	勝浦 哲夫 ^他	後デ 2
T25300301	人工物感性論	2.0	前期月曜 5 限	青木 弘行 ^他	後デ 2
T25300401	生活デザイン心理学	2.0	前期金曜 4 限	日比野 治雄 ^他	後デ 3
T25300501	デザイン文化論	2.0	前期水曜 4 限	宮崎 清 ^他	後デ 4
T25300601	人工物デザイン史論	2.0	後期水曜 3 限	(西本 豊弘)	後デ 4
T25300701	メディアデザイン情報論	2.0	後期火曜 5 限	赤瀬 達三	後デ 5
T25300801	行動環境デザイン論	2.0	前期金曜 2 限	清水 忠男 ^他	後デ 5
T25300901	産業デザイン論	2.0	前期月曜 2 限	釜池 光夫 ^他	後デ 5
T25301001	エコデザイン論 2	2.0	前期金曜 3 限	UEDA EDILSON SHINDI ^他	後デ 6
T25301101	ケアデザイン論	2.0	後期月曜 4 限	勝浦 哲夫	後デ 7
T25301201	異なるデザイン領域習得プログラム	2.0	通期集中	各教員	後デ 7
T25301301	デザインにおける情報工学	2.0	通期集中	各教員	後デ 8
T25301401	デザインにおける機械工学	2.0	通期集中	各教員	後デ 8
T25301501	海外大学アライアンスプログラム	2.0	通期集中	各教員	後デ 9
T25301601	デザイン・インターンシップ・プログラム	2.0	通期集中	渡邊 誠	後デ 9
T25301701	産学連携デザイン・プロジェクト・ワーク	2.0	通期集中	各教員	後デ 10
T25399801	特別演習 II(デザイン科学)	2.0	通期集中	各教員	後デ 10
T25399901	特別研究 II(デザイン科学)	4.0	通期集中	各教員	後デ 10
T20000101	ベンチャービジネス論	2.0	前期水曜 5 限	室 清文	後デ 11
T20000201	ベンチャービジネスマネジメント	2.0	後期水曜 5 限	室 清文	後デ 11
T20000301	技術者倫理	2.0	後期金曜 5 限	(滝口 孝一)	後デ 12

T25300101

授業科目名：デザイン・イノベーション
 科目英訳名：Design Innovation
 担当教員：各教員
 単位数：2.0単位
 授業コード：T25300101

開講時限等：前期木曜 5限
 講義室：工1号棟 310 意匠系会議室

科目区分

2007年入学生：必修科目 S10 (T261:工学研究科デザイン科学コース(後期))，選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期)，T252:工学研究科都市環境システムコース(後期)，T271:工学研究科機械系コース(後期)，T272:工学研究科電気電子系コース(後期)，T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期)，T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T25300201

授業科目名：環境人間工学
 科目英訳名：Environmental Ergonomics
 担当教員：勝浦 哲夫, 岩永 光一, 下村 義弘
 単位数：2.0単位
 授業コード：T25300201

開講時限等：前期水曜 5限
 講義室：各研究室

科目区分

2007年入学生：選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期)，T252:工学研究科都市環境システムコース(後期)，T261:工学研究科デザイン科学コース(後期)，T271:工学研究科機械系コース(後期)，T272:工学研究科電気電子系コース(後期)，T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期)，T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義・発表

[受入人数] 10名程度

[受講対象] 本学大学院博士後期課程学生

[授業概要] 各受講生は、環境人間工学に関する英文学術論文を調査、精読し、その内容を発表する。教員、受講生による質疑応答を行う。

[目的・目標] 世界的レベルでの研究の動向を把握し、その内容に関する知識と理解を深める。

[授業計画・授業内容] 各担当教員の初回授業では、担当教員のガイダンス・講義により、調査する文献資料の研究領域を設定する。各受講生は、自らの研究テーマとの整合性も考慮して設定された領域に関する英文学術論文の調査を行い精読する。その後の授業では、各受講生による文献資料の内容に関する発表を行い、教員および他の受講生による質疑応答を行う。

[教科書・参考書] 必要に応じて授業中に指示する。

[評価方法・基準] 発表の内容および質疑応答への参加状況により、総合的に判定する。

T25300301

授業科目名：人工物感性論
 科目英訳名：Material Science in Artifact and Kansei
 担当教員：青木 弘行, 久保 光徳
 単位数：2.0単位
 授業コード：T25300301

開講時限等：前期月曜 5限
 講義室：工1号棟 310 意匠系会議室

科目区分

2007年入学生：選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期)，T252:工学研究科都市環境システムコース(後期)，T261:工学研究科デザイン科学コース(後期)，T271:工学研究科機械系コース(後期)，T272:工学研究科電気電子系コース(後期)，T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期)，T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義・発表

[受入人数] 10名程度

[授業概要] 人間の五感をはじめとする各種感覚特性やそこから派生する感性の諸相を一連のシステムとして体系的に位置づけ、これらを評価・解析するための手法や設計に反映させるための手立てについて考究する。また、人と材料との関係、さらにはその材料によって構成される人工物と人との関係について最適設計論的観点から考究する。

[目的・目標] デザインにおける材料関連問題に対して、人工物と感性との関係を一連のシステムとして把握し、それらの関係を適切に評価し得る能力を養う。

[授業計画・授業内容]

1. 形と感性(1)
2. 形と感性(2)
3. 形と感性(3)
4. 数理と感性(1)
5. 数理と感性(2)
6. 数理と感性(3)
7. 中間報告会
8. イミテーション事例の収集(1)
9. イミテーション事例の収集(2)
10. イミテーション事例の分類(1)
11. イミテーション事例の分類(2)
12. イミテーション事例に対する講述(1)
13. イミテーション事例に対する講述(2)
14. イミテーション事例に対する講述(3)
15. 最終報告会

[キーワード] デザイン科学, 人工物, 感性

[教科書・参考書] 特になし

[評価方法・基準] 課題に対する提出物(提出期限厳守)と考察内容によって評価する。4/5以上の出席が必要。

[関連科目] デザイン・イノベーション

[履修要件] 特になし

T25300401

授業科目名: 生活デザイン心理学

科目英訳名: Design psychology for human life

担当教員: 日比野 治雄, 寺内 文雄

単位数: 2.0単位

開講時限等: 前期金曜 4限

授業コード: T25300401

講義室: 工1号棟 310 意匠系会議室

科目区分

2007年入学生: 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義・演習

[受入人数] 10名程度

[授業概要] 心理学の領域における知見を応用し、心理学的視点からデザインに関連した諸問題について考察するのがデザイン心理学(design psychology)である。本科目では、特に色彩知覚、触覚等に関連したデザインにおける様々な問題を取り上げる。

[目的・目標] よりよいデザインを志向する基礎として、人間の様々な行動および心理に関する知見は必須である。このようなデザイン心理学の視点からデザインの諸問題について考察する。特に、色彩知覚および触覚等に関連した様々な問題について、最近の文献を講読しながら検討を加えてゆく。

[授業計画・授業内容] 人間にとってよりよいデザインを実現するためには人間の知覚特性に対する正しい理解が必要である。そのため、本科目では、特に色彩知覚、触覚等の問題を取り上げ、デザインとの関わりについてより高度な観点から検討を加える。

1. はじめに：授業内容の説明と予定について
2. 色彩に関連した文献講読（1）
3. 色彩に関連した文献講読（2）
4. 色彩に関連した文献講読（3）
5. 色彩に関連した文献講読（4）
6. 色彩に関連した文献講読（5）
7. 色彩に関連した文献講読（6）
8. 色彩に関連した文献講読（7）
9. 触覚に関連した文献講読（1）
10. 触覚に関連した文献講読（2）
11. 触覚に関連した文献講読（3）
12. 触覚に関連した文献講読（4）
13. 触覚に関連した文献講読（5）
14. 触覚に関連した文献講読（6）
15. 触覚に関連した文献講読（7）

[キーワード] デザイン心理学，人間行動，知覚，色彩知覚，触覚

[教科書・参考書] 最初のガイダンスにおいて指示する。

[評価方法・基準] 出席：30%；ミニレポート：30%；発表 40%

[備考] 授業内容は都合により変更する場合がある。

T25300501

授業科目名：デザイン文化論

科目英訳名：Human Life Design

担当教員：宮崎 清, 植田 憲, 樋口 孝之

単位数：2.0 単位

開講時限等：前期水曜 4 限

授業コード：T25300501

講義室：工 2 号棟 207

科目区分

2007 年入学生：選択科目 S30（T251:工学研究科建築学コース（後期），T252:工学研究科都市環境システムコース（後期），T261:工学研究科デザイン科学コース（後期），T271:工学研究科機械系コース（後期），T272:工学研究科電気電子系コース（後期），T273:工学研究科メディカルシステムコース（後期），T281:工学研究科共生応用化学コース（後期））

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T25300601

授業科目名：人工物デザイン史論

科目英訳名：Design History of Artifacts

担当教員：(西本 豊弘)

単位数：2.0 単位

開講時限等：後期水曜 3 限

授業コード：T25300601

講義室：工 2 号棟 207

科目区分

2007 年入学生：選択科目 S30（T251:工学研究科建築学コース（後期），T252:工学研究科都市環境システムコース（後期），T261:工学研究科デザイン科学コース（後期），T271:工学研究科機械系コース（後期），T272:工学研究科電気電子系コース（後期），T273:工学研究科メディカルシステムコース（後期），T281:工学研究科共生応用化学コース（後期））

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T25300701

授業科目名：メディアデザイン情報論

科目英訳名：Theory of Media Design

担当教員：赤瀬 達三

単位数：2.0 単位

授業コード：T25300701

開講時限等：後期火曜 5 限

講義室：工 1 号棟 310 意匠系会議室

科目区分

2007 年入学生：選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義・演習

[目的・目標] コミュニケーションメディアにおける表現とメッセージのかかわりの中で、記号表現と意味作用の相関性の諸問題に焦点を絞って論じるのがメディアデザイン情報論である。ここでは、公共空間におけるコミュニケーション課題にかかわる実践例を取り上げ、各々の記号表現と意味作用の関係について分析・評価し、この分野のメディアデザインにおける普遍的表現のあり方を考察する。

[授業計画・授業内容] 開講期間内に 2 つの実践例を取り上げ、いずれも現地調査・分析・評価・ディスカッションを経て、論文として仕上げる。その間、関連項目について適宜講義する。

[キーワード] Communication design, sign, signification, iconic sign, indexical sign, symbolic sign

[評価方法・基準] 論文を評価し、60 点以上を合格とする。

T25300801

授業科目名：行動環境デザイン論

科目英訳名：Behavioral Environment Design

担当教員：清水 忠男, 佐藤 公信

単位数：2.0 単位

授業コード：T25300801

開講時限等：前期金曜 2 限

講義室：工 3 号棟 203

科目区分

2007 年入学生：選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義

[授業概要] 人間の行動や心理の様態と周囲の状況との関わりを把握し、望ましい環境づくりに貢献するデザインのありようを探る。

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[キーワード] Human behavioral psychology, Built environment, Environmental design

[評価方法・基準]

T25300901

授業科目名：産業デザイン論

科目英訳名：Industrial Design

担当教員：釜池 光夫, 渡邊 誠

単位数：2.0 単位

授業コード：T25300901

開講時限等：前期月曜 2 限

講義室：工 1 号棟 310 意匠系会議室

科目区分

2007 年入学生: 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義

[授業概要] 産業デザインの領域は拡大の一途をたどっている。そのため、デザイン行為あるいはデザイン対象そのものをシステムとしてとらえることが必須とされている。そこでこのようなデザイン行為やデザイン対象におけるシステムをどのようにとらえ構築するかについてその方法と応用例について論ずる。また企業におけるデザインについても論ずる。

[目的・目標] 産業デザインのデザイン行為やデザイン対象におけるシステムをどのようにとらえ構築するかについてその方法と応用例について論ずる。また企業におけるデザインについても論ずる。

[授業計画・授業内容] 産業デザインのデザイン行為やデザイン対象におけるシステムをどのようにとらえ構築するかについてその方法と応用例について論ずる。また企業におけるデザインについても論ずる。

[キーワード] Industrial Design, Design Theory, Design Management

[評価方法・基準] レポートなど

T25301001

授業科目名: エコデザイン論 2

科目英訳名: Ecodesign 2

担当教員: UEDA EDILSON SHINDI, 木下 剛

単位数: 2.0 単位

開講時限等: 前期金曜 3 限

授業コード: T25301001

講義室: 工学系総合研究棟 7 階 1 号

科目区分

2007 年入学生: 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義・発表

[受入人数] 10 名程度

[授業概要] 前半は、ランドスケープデザインのコンセプトメイキングや具体の計画設計、施工管理、利活用の各フェーズにおいて、環境調和というテーマをどのように内化していくべきかについて、これまでの取り組みを検証しながら議論する。後半は、環境調和型製品の開発とそのビジネスやサービスの展開方法等を通じた持続可能な社会構築に関して論述する。

[目的・目標] 前半は、環境調和を考えたランドスケープデザインのコンセプトメイキングの手法について理解する。後半は、環境調和型製品設計とその実現化技術、ライフサイクル・マネジメント等に関する実践、理論研究、戦略、実現化技術等について技術的視点からのみならず、社会的、法的、経済的、文化的視点から幅広く論述する。

[授業計画・授業内容]

1. はじめに: 授業内容の説明と予定について
2. 環境調和とランドスケープデザイン (1)
3. 環境調和とランドスケープデザイン (2)
4. 環境調和とランドスケープデザイン (3)
5. 環境調和とランドスケープデザイン (4)
6. 環境調和とランドスケープデザイン (5)
7. 環境調和とランドスケープデザイン (6)
8. 環境調和とランドスケープデザイン (7)
9. サステナブルデザイン、エコプロダクトとエコサービスデザイン (1)
10. サステナブルデザイン、エコプロダクトとエコサービスデザイン (2)
11. サステナブルデザイン、エコプロダクトとエコサービスデザイン (3)
12. サステナブルデザイン、エコプロダクトとエコサービスデザイン (4)

13. サステナブルデザイン、エコプロダクトとエコサービスデザイン(5)

14. サステナブルデザイン、エコプロダクトとエコサービスデザイン(6)

15. サステナブルデザイン、エコプロダクトとエコサービスデザイン(7)

[キーワード] サステナブルデザイン、エコプロダクト、ランドスケープデザイン、エコロジカルプランニング

[評価方法・基準] 出席: 40%、レポート 20%、テスト 40%

T25301101

授業科目名: ケアデザイン論

科目英訳名: Theory of Care Design

担当教員: 勝浦 哲夫

単位数: 2.0 単位

授業コード: T25301101

開講時限等: 後期月曜 4 限

講義室: 工 2 号棟 101 教室

科目区分

2007年入学生: 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義

[受入人数] 100 名

[受講対象] 本学大学院学生

[授業概要] 高齢社会を迎え、生活弱者に対する配慮は益々必要になってきている。ケアデザイン論では、園芸学、デザイン科学の観点から生活弱者を支援するための環境やモノのデザインのあり方について講義する。

[目的・目標] 高齢者などの生活弱者を支援するために必要な人間科学の知識について、園芸学、デザイン科学の観点から講義し、生活弱者を支援するための環境やモノのあり方を学ぶ

[授業計画・授業内容]

1. ケアデザインと人間工学
2. 生活弱者と温熱環境
3. 生活弱者と光環境
4. 生活弱者と住環境
5. 生活弱者と生体リズム
6. 生活弱者を支援する機器−1
7. 生活弱者を支援する機器−2
8. 公共緑地におけるケアデザイン
9. 植栽の現場でのケアデザイン-1
10. 植栽の現場でのケアデザイン-2
11. 植栽の現場でのケアデザイン-3
12. 海外におけるケアデザイン
13. パターンランゲージを用いたケアデザインの提案-1
14. パターンランゲージを用いたケアデザインの提案-2

[キーワード] Horticultural therapy, Universal design, Ergonomic design, Welfare device

[評価方法・基準] 中間試験, 期末試験を実施し, その得点で評価する。

T25301201

授業科目名: 異なるデザイン領域習得プログラム

科目英訳名: Design Cross-Fertilization Program

担当教員: 各教員

単位数: 2.0 単位

授業コード: T25301201

開講時限等: 通期集中

講義室:

科目区分

2007年入学生: 必修科目 S10 (T261:工学研究科デザイン科学コース(後期)), 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義

[授業概要] 他専攻のデザイン系のデザイン研究に関する授業を受講し, かつ事前指導及び事後指導を受講する。

[目的・目標] 他専攻のデザイン系のデザイン研究に関する授業を受講し, かつ事前指導及び事後指導を受講する。

Design, Cross-F e r t i l i z a t i o n Research-Program

[授業計画・授業内容] 他専攻のデザイン系のデザイン研究に関する授業を受講し, かつ事前指導及び事後指導を受講する

[キーワード] Design, Cross-F e r t i l i z a t i o n Research-Program

[評価方法・基準] 受講する授業については, 事前に担当教員と相談の上決定する。

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T25301301

授業科目名: デザインにおける情報工学

科目英訳名: Design Information Technology

担当教員: 各教員

単位数: 2.0 単位

開講時限等: 通期集中

授業コード: T25301301

講義室:

科目区分

2007年入学生: 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義

[授業概要] 今日の高度化した情報工学についてデザイン的な観点から概説する。

[目的・目標] デザインに必要なとされる情報工学における一般的な知識の獲得と、先端的なトピックについての概説を行い、今後のデザインと情報について検討する。

[授業計画・授業内容] デザインに必要なとされる情報工学における一般的な知識の獲得と、先端的なトピックについての概説を行い、今後のデザインと情報について検討する。

[キーワード] Information Technology, Design Information

[評価方法・基準] 試験・レポートなど

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T25301401

授業科目名: デザインにおける機械工学

科目英訳名: Design Engineering

担当教員: 各教員

単位数: 2.0 単位

開講時限等: 通期集中

授業コード: T25301401

講義室:

科目区分

2007年入学生: 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義

[授業概要] 家電品や自動車などの機器から産業用の機器にいたるまでの、機械における工学についてデザイン的な観点から概説する。

[目的・目標] デザインに必要とされる機械工学における一般的な知識の獲得と、先端的なトピックについての概説を行い、今後のデザインと機械技術について検討する。

[授業計画・授業内容] デザインに必要とされる機械工学における一般的な知識の獲得と、先端的なトピックについての概説を行い、今後のデザインと機械技術について検討する。

[キーワード] Engineering Technology, Design Engineering

[評価方法・基準] 試験、レポート

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T25301501

授業科目名： 海外大学アライアンスプログラム	
科目英訳名： Design Alliance Program	
担当教員： 各教員	
単位数： 2.0 単位	開講時限等： 通期集中
授業コード： T25301501	講義室：

科目区分

2007年入学生： 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 演習

[授業概要] 担当教員が指定する海外提携及び連携大学におけるデザイン研究に関する授業を受講し、かつ事前指導及び事後指導を受講する。

[目的・目標] 海外提携及び連携大学と授業内容については、事前に担当教員と相談の上決定する

[授業計画・授業内容] 海外提携及び連携大学と授業内容については、事前に担当教員と相談の上決定する

[キーワード] Design, Alliance Research-Program

[評価方法・基準] 課題

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T25301601

授業科目名： デザイン・インターンシップ・プログラム	
科目英訳名： Design Internship Program	
担当教員： 渡邊 誠	
単位数： 2.0 単位	開講時限等： 通期集中
授業コード： T25301601	講義室：

科目区分

2007年入学生： 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法]

[授業概要] 企業のデザイン部門で研究を主体とした実習を行う。

[目的・目標] 企業のデザイン部門において、高度なデザイン開発における実務経験を通して、デザインにおける研究開発の重要性を習得する。

[授業計画・授業内容] 企業のデザイン部門において、高度なデザイン開発における実務経験を通して、デザインにおける研究開発の重要性を習得する。

[キーワード] Internship, Design Development, Inhouse Design

[評価方法・基準] 事前評価、事後評価およびインターンシップ中の評価

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T25301701

授業科目名：産学連携デザイン・プロジェクト・ワーク
 科目英訳名：Design Project Work
 担当教員：各教員
 単位数：2.0単位
 開講時限等：通期集中
 授業コード：T25301701
 講義室：

科目区分

2007年入学生：選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 演習

[授業概要] 大学における研究成果を、外部提携先(企業や自治体・団体)との連携により実践する。

[目的・目標] 大学における高度な研究ノウハウをもとに、提携先とデザイン開発プロジェクトを大学において行う。なおデザイン・リサーチ・プロジェクト・ワークのテーマについては、プロジェクト・マネージャーとなる教員から提示される。

[授業計画・授業内容] 大学における高度な研究ノウハウをもとに、提携先とデザイン開発プロジェクトを大学において行う。なおデザイン・リサーチ・プロジェクト・ワークのテーマについては、プロジェクト・マネージャーとなる教員から提示される。

[キーワード] Design Project, Joint Work, Design Practice

[評価方法・基準] 課題

[備考] なおこの授業については事前にプロジェクト・マネージャーに受講許可を取ること。

T25399801

授業科目名：特別演習 II(デザイン科学)
 科目英訳名：Advanced Seminar II
 担当教員：各教員
 単位数：2.0単位
 開講時限等：通期集中
 授業コード：T25399801
 講義室：

科目区分

2007年入学生：必修科目 S10 (T261:工学研究科デザイン科学コース(後期))

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T25399901

授業科目名：特別研究 II(デザイン科学)
 科目英訳名：Graduate Research II
 担当教員：各教員
 単位数：4.0単位
 開講時限等：通期集中
 授業コード：T25399901
 講義室：

科目区分

2007年入学生：必修科目 S10 (T261:工学研究科デザイン科学コース(後期))

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

授業科目名：ベンチャービジネス論

科目英訳名：Venture Business

担当教員：室 清文

単位数：2.0 単位

授業コード：T20000101

開講時限等：前期水曜 5 限

講義室：105 講義室

(「105 講義室」は法経学部の講義室である。)

科目区分

2007年入学生：選択科目 S30 (T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期), T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義

[受入人数] 100

[受講対象] 自学部他学科生 履修可, 他学部生 履修可, 科目等履修生 履修可

[授業概要] 起業家、投資家、起業コンサルタント、法律・知財関係者を講師に、オムニバス形式で起業とベンチャービジネスの経営の実際について学び、ベンチャービジネス、企業活動への理解を深める。

[目的・目標] 起業家、投資家、起業コンサルタント、法律・知財関係者を講師に、オムニバス形式で起業とベンチャービジネスの経営の実際について学び、ベンチャービジネス、企業活動への理解を深める。

[授業計画・授業内容] 以下のような内容の講義を学内外の講師によるオムニバス形式で行う。

1. 「千葉大のVBL活動と私のベンチャービジネス展開」 千葉大学 大坪泰文
2. 「産官学連携における大学の役割」 元千葉大産学連携コーディネーター 野崎 努
3. 「ベンチャービジネスと知的財産権 I」 沢田国際特許事務所 沢田雅男
4. 「ベンチャービジネスと知的財産権 II」 沢田国際特許事務所 沢田雅男
5. 「企業における研究者に求められる知財センス」 富士ゼロックス? 原嶋克巳
6. 「知財/技術移転を活用するベンチャービジネスの展開」 千葉県知的所有権センター 稲谷稔宏
7. 「経営者になると世界が視える～誰のための開発か～」 アッシュインターナショナル Inc. 建入ひとみ
8. 「IT分野のスタートアップ」 日本インサイトテクノロジー 池和田暁
9. 「キャッシュフロー経営」～なぜ屋台は儲かるのか?～ 沖電気? 関和彦
10. 「ベンチャー立ち上げの苦労話」ーベンチャー・キャピタリストの役割? 未来ネットワーク研究所 佐々岡忠男
11. 「時代のニーズとビジネスチャンス」-環境・エネルギー・食料など-? 光と風の研究所 堀内道夫
12. 「会社を作ってみたくて思ったことアリマスヨネ!」 NPO 法人 TRYWARP 虎岩雅明
13. 「生き残るベンチャービジネスになるには」 ?アクティブレイインズ平山喬恵
14. 「グラフト重合材料の製品化奮戦記」 千葉大学工学部 斎藤恭一
15. 「パネルディスカッション」

[評価方法・基準] レポート、出席、ブログへの書き込みなどを総合して評価する

授業科目名：ベンチャービジネスマネジメント

科目英訳名：Venture Business Management

担当教員：室 清文

単位数：2.0 単位

授業コード：T20000201

開講時限等：後期水曜 5 限

講義室：自然新棟 マルチメディア講義室

科目区分

2007年入学生: 選択科目 S30 (T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期), T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義・演習

[受入人数] 20

[受講対象] 学部他学科生 履修可, 他学部生 履修可, 科目等履修生 履修可

[授業概要] 資金調達やリスクマネジメント、投資と融資の実際、産官学連携施策、創業支援施策など実際のベンチャーの起業・運営に必要な事柄について講義する。ベンチャービジネスの創成に向けてビジネスプラン・決算書などの作成の実際についてグループ演習で学ぶ。

[目的・目標] 1.ベンチャービジネスの現状と各種の起業支援策について学ぶ。2.資金調達やビジネスプランの書き方について学ぶ。3.ベンチャーの経営や運営の実際について学ぶ。

[授業計画・授業内容] 以下の内容について講義とグループ演習を併用して授業を行う。

1. 10月 3日 ガイダンス・ベンチャービジネス概況
2. 10月10日 ベンチャ ビジネスのための想像力と創造力
3. 10月17日 新規開業実態状況(国民生活金融公庫)
4. 10月24日 ベンチャービジネスの会社形態
5. 10月31日 ベンチャービジネスの資金調達
6. 11月 7日 日本のベンチャーキャピタル
7. 11月14日 創業・新事業展開等支援施策
8. 11月21日 産学官連携推施策・産業クラスター
9. 12月 5日 ベンチャービジネスの財務諸表
10. 12月12日 スコープ&リスクマネジメント
11. 12月19日 ビジネスプラン
12. 1月 9日 グループ演習:ベンチャービジネス創成
13. 1月16日 グループ演習:ベンチャービジネス創成
14. 1月23日 グループ演習:ベンチャービジネス創成
15. 1月30日 グループ演習発表会・まとめ

[教科書・参考書] 授業の都度配布プリントにより講義する。参考文献として以下のものを勧めます。1)ベンチャー企業の経営と支援:松田修一監修、日本経済新聞社2)ベンチャーハンドブック:水野博之監修、日刊工業新聞社3)アントレプレナーの戦略的思考技術:大江建監訳、ダイヤモンド社4)事業計画書の作り方:ネットワークダイナミックスコンサルティング編著

[評価方法・基準] レポート、グループ演習並びにディスカッションへの参加状況、出席状況により総合的に判断する

T20000301

授業科目名: 技術者倫理

科目英訳名:

担当教員:(滝口 孝一)

単位数:2.0 単位

授業コード:T20000301

開講時限等:後期金曜 5 限

講義室:自然新棟 マルチメディア講義室

科目区分

2007年入学生: 選択科目 S30 (T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期), T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法]

[目的・目標] 本講義の目指すところは、各技術分野における倫理課題の実例による議論を通して、企業の倫理的活動にまで理解を有する成熟した技術者の育成に資することである。

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]